

# 08 PROJECT

## 飼料作物種子事業

### 優れた飼料作物種子をお届けするために。

ホクレンでは、営農コスト低減へ向けて試験・研究を重ね、北海道に適した牧草種子やとうもろこし種子などを組合員のみなさまへお届けしています。自給飼料生産は、北海道の酪農・畜産にとって欠かすことのできない経営基盤です。自給飼料の質と量の確保が、酪農・畜産コストの低減と生産性向上につながります。



### 高品質種子の安定供給

北海道内で流通する飼料作物種子と緑肥作物種子は、大部分が海外（主に米国、カナダ、欧州、オセアニア）で生産されているため、産地の気象状況や経済情勢が、価格や流通に大きく影響します。ホクレンでは生産地の情報を海外種苗会社から直接入手することに努めるとともに、複数年の増殖契約や売買契約を締結することで計画的に種子を輸入し、一定量を備蓄。高品質で安価な種子の安定供給を進めています。輸入された種子は、植物検疫や通関手続きを経て**小樽種子工場**に保管された後、ロット毎にISTA（国際種子検査協会）の規定に準じた手法で純度や発芽率などを厳密に検査。一定基準を満たした種子だけをパッキングし、組合員のみなさまへお届けしています。



米国アイダホ州のチモシー採種圃場

### 高能力品種の開発・選定

ホクレンでは、**訓子府実証農場**や十勝試験圃場（帯広市）において、チモシーやオーチャードクラス、アルファルファ、アカクローバ、シロクローバなど牧草類の育種や国・道との共同研究・委託試験、海外で育成された品種の導入を実施。高能力品種の開発とその活用方法について研究しています。平成29年度からは、北海道農業研究センターと根釧農業試験場との共同育成品種であるアルファルファ「ウシモスキー」の供給を開始しました。また、サイレージ用とうもろこしや緑肥作物についても、全道3か所の本会試験圃場のほか、各地の現地圃場において比較試験をおこない、北海道の気候風土に適した品種の選定を進めています。



訓子府実証農場試験圃場での牧草試験



小樽種子工場における発芽試験



北農試と根釧農試との共同育成品種アルファルファ「ウシモスキー」

:Forage crop seed business

## RELATED FACILITY [関連施設]

### 小樽種子工場

高品質な飼料作物種子の安定供給に向けて、平成21年より新工場を稼働。精選機や搬送機の見直し・金属探知機の設置により異物除去能力と種子品質の向上を図ったほか、定温低湿倉庫を増強して保管能力を強化しました。熱源には天然ガスを採用し、CO<sub>2</sub>排出量を低減。また、集塵機能も高め、外部へのチリ・ホコリの排出を抑えるなど環境にやさしい工場となっています。



## CLOSE UP [クローズアップ]

### ハルガヤの拡大と防除法

牧草よりも早い4月下旬に出穂し、6月上旬には大量の種子を結実させる多年草のイネ科雑草「ハルガヤ」が全道各地で問題となっています。ホクレンは北海道大学、道立総合研究所と共同で、ハルガヤの防除技術マニュアルをまとめました。

